

教科の目標

- 1 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- 2 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
- 3 言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

評価の観点

- 1 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。
- 2 「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、社会生活における人との関わりの中で伝えあう力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。
- 3 言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉が持つ力を認識しようとしているとともに、言語感覚を豊かにし、言葉を適切に使おうとしている。

評価の方法

- ア 授業に取り組む姿勢(説明・発表を聞く、発表する、課題に取り組む等)
- イ 提出物(ノート、レポート、作文等)
- ウ 定期テスト、ワークシート
- エ 小テスト(漢字、スピーチ、暗唱等)
- 以上のことを中心に総合的に評価します。

特色ある学習方法

- ア 個人及びグループによる課題解決学習
- イ 図書及びタブレット端末を活用しての調べ学習
- ウ 学年の発達段階に応じた表現活動
- エ 学習プリントの活用
- オ その他視聴覚教材の活用 等

	教材名	学習のねらい
一 学 期	見えないだけ アイスプラネット 枕草子 多様な方法で情報を集めよう 書写(硬筆) 漢字1 クマゼミ増加の原因を探る 魅力的な提案をしよう 文法への扉1 メディアを比べよう 短歌に親しむ 短歌を味わう 言葉の力 言葉1 言葉を比べよう	<ul style="list-style-type: none"> ・表現の特徴と情景を捉える。 ・登場人物の設定と特徴を読み取る。 ・作者のものの見方考え方に触れる。 ・情報の収集と整理をして活用する。 ・字形・運筆・点画を理解する。 ・熟語の構成を理解する。 ・文章と図表の関係を理解する。 ・考えをわかりやすく伝える。 ・自立語の分類を理解する。 ・メディアの活用し方を身につける。 ・語感を磨く。 ・知識と経験と結び付けて読みを深める。 ・言葉の本質について考える。 ・類義語・対義語・多義語を理解する。 ・「伝わる」表現について考える。
二 学 期	盆土産 字のない葉書 聞き上手になろう 表現を工夫して書こう 言葉2 漢字2 モアイは語る 根拠の適切さを考えて書こう 立場を尊重して話し合おう 平家物語 仁和寺にある法師 漢詩の風景 君は「最後の晚餐」を知っているか 文法への扉2 書写(毛筆)	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の人柄や心情を捉える。 ・随筆の味わい方と表現方法を捉える。 ・考えを引き出す質問法を身につける。 ・表現の仕方を工夫する。 ・敬語について理解する。 ・同音異義語異字同訓について理解する。 ・論理の展開を吟味する。 ・適切な根拠のあり方について考える。 ・互いを尊重して話し合う。 ・古典の調子を捉え、読みを深める。 ・作者のものの見方考え方を考える。 ・情景を想像し昔の人の心情に触れる。 ・構成や表現の効果について考える。 ・用言の活用について理解する。 ・字形・運筆・点画を理解する。
三 学 期	走れメロス 文法への扉3 言葉3 漢字3 一年間の学びを振り返ろう 木	<ul style="list-style-type: none"> ・表現の効果と作品の魅力を考える。 ・付属語について理解する。 ・話し言葉と書き言葉の特徴を理解する。 ・送り仮名の付け方の原則を理解する。 ・国語を学ぶ意義を考える。 ・自分の考えを広げる。